

第2次福津市食育推進計画 進捗状況
 目指す姿・・・福津のめぐみ 笑顔がつながる みんなの食卓

資料 1

【基本目標 1】元気な地域をつくる

目 標	H28に計画した市の取組み目標	課	R4年度 取組み(案) (R4.5月)	R4年度の現状と課題	R5年度取組み(案)
①食を通して地域を知る	○農漁業者や農水産物直販所などと協力して、市民や子どもたちと生産者との交流体験の機会を充実を図ります。 ○食に関するイベントに誰もが参加できるよう、あらゆる手段を使って積極的に情報を発信します。 ○地域で取り組んでいる農業体験活動の情報を発信します。 ○保育所・幼稚園、小中学校の取り組みが推進されるよう、生産者や食育に関係する団体との連携を支援します。	観光振興課	(一社)ひかりのみちDMO福津が「おいしい福津」をコンセプトに地元食材を使用した「食」に関するイベントを開催(鯛茶フェア、開運スイーツフェア等)	・鯛茶フェア(5~6月)、開運スイーツフェア(10月)、あったか福津イケ麺フェア(2月) 課題:協賛店舗の協力が不可欠 ・暮らしの旅(食に関する旅プログラム×5メニュー) 課題:事業の狙いと参加者ニーズの調整	地元店舗の協力を得て各種「食フェア」の開催、暮らしの旅における「食に関する旅プログラム」の企画・開催
		農林水産課	・JA青年部と協働で、小学校での体験学習でスイカの苗植え及び収穫 ・地域活性化へ繋げるため、地元漁業者と協力してカキ即売会	・JA青年部と協働で、小学校での体験学習でスイカの苗植え及び収穫 ・地域活性化へ繋げるため、地元漁業者と協力してカキ即売会	・JA青年部と協働で、小学校での体験学習でスイカの苗植え及び収穫 ・地域活性化へ繋げるため、地元漁業者と協力してカキ即売会
		地域コミュニティ課	郷づくり推進協議会主催の野菜苗植えや収穫体験	・野菜や米作り体験、収穫物を使った料理教室 ・野菜を通したクイズや箸の使い方教室 ・取組状況に地域差があるため、協議会間で情報交換する機会を設ける等、取組みを広げる方法を検討する。	郷づくり推進協議会のR5年度事業計画にもとづく。
		郷育推進課	新型コロナウイルス感染予防のため、調理や食事を伴う講座は開講を見合わせ	地域とそこに暮らす住民とともに育ちあう「郷育」をすすめる、生きがいと地域の指導者づくりを目指す郷育カレッジで、食を通して地域を学ぶ講座を実施していたが、新型コロナウイルス感染予防のため実施を見合わせている。	郷育カレッジで、食を通して地域を学ぶ講座の実施を検討。
		学校教育課	現状継続 掲示物作成及び市教委HPに掲載	掲示物作成し、校内に掲示 また、給食時間に地域についての内容を放送している。	引き続き、掲示物作成し校内に掲示 給食時間に地域についての内容を放送する。
		子育て世代包括支援課	地元の食材を知ってもらうために、小学生の夏休み課題で、福津の食材を使って料理へチャレンジする企画を検討中。	小学生の夏休み課題で「福津のめぐみで料理名人」を実施し、地元産の食材を使った料理に、918名の応募があった。	引き続き、小学生の夏休み課題で、地元産の食材を使った料理に挑戦する「福津のめぐみで料理名人」を実施予定
		こども課 大和保育所	ふれあい広場より食材を購入。	地元でとれた野菜の旬などを伝えている。	ふれあい市場にある食材を購入予定

NO	指 標	調査結果 (H27年)	調査結果 (R2年)	目 標 (R8年)
1	生産者と交流体験をしたことのある市民および小学生の割合	小学生 66.9%	市民 19.6% 小学生 38.5%	市民 50% 小学生 80%

目 標	H28に計画した市の取組み目標	課	R4年度 取組み (案) (R4.5月)	R4年度の現状と課題	R5年度取組み (案)
② 地元でとれたものをおいしく食べる	○学校給食や保育所給食への地元産食材の利用を継続します。	商工振興課	地元産食材（加工等を含む）の供給安定化	地元産食材（加工等を含む）の供給安定化 課題：生産者等の協力が不可欠、天候不良時の安定供給	地元産食材（加工等を含む）の供給安定化
	○地元の食材を使った料理教室の開催や料理レシピの提供をします。	学校教育課	現状を継続 変更点：各学校のHPで毎月更新する	献立表に地元産食材の使用日を掲載 給食時間の放送で、献立に関することや産地の紹介を行っている。 量がそろわず、地元産食材を使用できないことがある。	引き続き、献立表に地元産食材の使用日を掲載及び給食時間の放送で、献立に関することや産地の紹介を行う。
	○地域の特色を活かした取り組みの情報を発信します。	いきいき健康課	地元産食材を使ったメニューを食進会主催の市民対象料理教室で積極的に取り入れる。	・市公式SNS（LINE、Facebook）での周知を開始し、参加者増につながった。 ・コロナ禍により、健康への関心や免疫力アップへの期待を持った人が参加されている。 今後も地元産食材の利用を継続したいと考えている。	・市公式SNSでの周知の継続。 ・地元産食材の利用の継続。 ・食進会活動を通じた参加者増。
	○地元産食材を使っている飲食店をPRする仕組みを作ります。	こども課 大和保育所	福津産の旬の食材を使用し季節感のある給食の提供	福津産の旬の食材を使用し季節感のある給食の提供	福津産の旬の食材を使用し季節感のある給食の提供
		子育て世代包括支援課	・地元の食材を知ってもらうために、小学生の夏休み課題で、福津の食材を使って料理へチャレンジする企画を検討中。 ・乳幼児健診で地元の食材のレシピを配布する。 ・新規事業の妊婦さんクッキングで地元産食材を使ったメニューを紹介する。	・「福津のめぐみで料理名人」で、地元産の食材を利用して美味しかったとの感想が多くあった。 ・乳幼児健診で地元の食材を使ったレシピを配布している。 ・ハッピークッキング講座（妊娠6ヶ月以降の初産婦を対象とした料理教室）では地元産食材（鯛や旬の野菜）を使ったメニューを紹介していて好評である。参加者が少ないことが課題である。	引き続き、 ・小学生対象の「福津のめぐみで料理名人」で、地元産の食材を利用 ・乳幼児健診でレシピを配布する。 ・妊婦さん対象の「ハッピークッキング」で地元産食材を使ったメニューを紹介する。

NO	指 標	調査結果 (H27年)	調査結果 (R2年)	目 標 (R8年)
2	毎日の食事に、旬のものや地元産の食材をよく使う市民の割合	58.20%	45.30%	70%
3	学校給食における地元産（市内および宗像農協管内）の食材の利用率（重量ベース）	48.30%		40%以上 (国の目標30%以上)

【基本目標2】健康な暮らしを実感する

目 標	H28に計画した市の取組み目標	課	R4年度 取組み(案) (R4.5月)	R4年度の現状と課題	R5年度取組み(案)
①若い世代が健康や食への意識を持つ	○妊娠をきっかけに食の大切さを認識し、家族の健康づくりに取り組むことができるよう支援します。	いきいき健康課	自分で作ることから「食と栄養」への関心を高めるため、親子料理教室、子ども食育教室を開催。	・親子料理教室は、自分で作ることによって料理への興味をもってもらえた。 ・子ども食育教室は、飲物の糖分と健康の関係についての体験教室を通して生活習慣病予防の啓発を行うことができた。 ・広報のみでは参加者が少なく、チラシや市公式SNSを利用した周知活動も同時に行った。	・親子料理教室は、伝えたいテーマと前回のアンケートを踏まえて実施予定。
	○離乳食や子どもの食生活指導を通して、健康や食への意識を高めていきます。				
	○健診を通して、市民の健康への意識を高めていきます。	子ども課 大和保育所	毎日子どもたちが食べている給食を懇談会に合わせ試食（またはレシピを配布）市保護者に伝える。	子どもたちに人気の給食やおやつを各クラスの懇談会で試食してもらうことができた。保育所の保護者にも楽しんでクッキングが実施できた。	保護者への試食は実施してクッキングの回数を増やしたい。だしの丁寧な取り方なども伝えていきたい。
	○あらゆる手段を利用して、食に関係するイベントや食育に関係する情報を発信します。	子ども課 子育て支援センター	令和3年度に引き続き、幼児・乳幼児を対象の食事作り（レシピ）の提供をする。	子育て支援センターの利用者が0歳・1歳の子の保護者が多く、離乳食の悩みの相談が多かった。	離乳食をはじめ、食に興味を持てるような講座の開催や乳幼児食のレシピを提供する。
		子育て世代包括支援課	・自分だけで料理ができるこどもを増やすために、小学生の夏休み課題で福津の食材を使って料理へチャレンジする企画を検討中。 ・母子手帳交付時や、各健診、教室で引き続き、資料や展示、個別指導でバランス良い食事や生活習慣病予防の啓発をしている。	・自分だけで料理ができるこどもを増やし、健康的な食生活を意識し実践する力を身につけるため、「福津のめぐみで料理名人」の実施。 ・母子手帳交付時、各健診、教室で、資料や展示、個別指導でバランス良い食事や生活習慣病予防の啓発をしている。	引き続き、 ・自分だけで料理ができるこどもを増やし、健康的な食生活を意識し実践する力を身につけるため、「福津のめぐみで料理名人」の実施予定。 ・母子手帳交付時、各健診、教室で、資料や展示、個別指導でバランス良い食事や生活習慣病予防の啓発をする。

NO	指 標	調査結果 (H27年)	調査結果 (R2年)	目 標 (R8年)
4	野菜を毎食食べることを心がけている若い世代の割合	—	41.5%	60%
5	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をとるよう心がけている若い世代の割合	43.2% (国)	41%	60%
6	自分だけで料理をすることができる子どもの割合	小学生 71.5% 中学生 67.3%	小学生 67.3% 中学生 69.6%	小学生 75% 中学生 75%

目 標	H28に計画した市の取組み目標	課	R4年度 取組み（案）（R4.5月）	R4年度の現状と課題	R5年度取組み（案）
②規則正しい生活リズムを整える	<p>○健診や健康講座などあらゆる機会を通じて、規則正しい生活リズムを整えることの大切さを伝えていきます。</p> <p>○「早寝・早起き・朝ごはん」のキャンペーンを展開するなど、子どもに関係する全ての機関や団体と連携して、朝食への関心を高める活動を積極的に推進していきます。</p>	学校教育課	小学校対象に「自分で作るかんたん朝ごはん」事業を継続	R4年度は、小学生対象の「自分で作るかんたん朝ごはん」事業はコロナの影響のため実施できなかった。 代わりに朝ごはん通信「my朝ごはん」を学校ホームページ及び市教育委員会ホームページに掲載 簡単朝ごはんレシピ動画を作成し、市教育委員会ホームページに掲載	小学校対象に「自分で作るかんたん朝ごはん」事業を実施する。
		いきいき健康課	健診や保健指導、食進会活動を通じて、3食規則正しく食べることの大切さを伝えていく。	健診時や結果説明会での保健指導、500Kcal料理教室や親子料理教室、子ども食育教室で啓発を行った。	引き続き、健診や保健指導、食進会活動を通じて、3食規則正しく食べることの大切さを伝えていく。
		子ども課 大和保育所	食事のマナー、お箸の正しい使い方、食べる時の姿勢など栄養士から子どもたちへ伝える。	コロナが増えると難しい状況になるができるだけクラスに入る努力はした。	コロナが落ち着いてくれたら、子どもたちと一緒に給食を食べながら箸の持ち方や姿勢などを伝えていきたい
		子育て世代包括支援課	乳幼児健診で規則正しい生活リズムや、3食規則正しく食べることの大切さを伝える。	乳幼児健診で規則正しい生活リズムや、3食規則正しく食べることの大切さを資料配布や個別相談で伝えている。	引き続き、乳幼児健診で規則正しい生活リズムや、3食規則正しく食べることの大切さを伝える。

NO	指 標	調査結果（H27年）	調査結果（R2年）	目 標（R8年）
7	朝食を毎日食べる子どもの割合	小学生 87.6% 中学生 85.1%	小学生 85.1% 中学生 82.2%	小学生 100% 中学生 100%
8	朝食を毎日食べる若い世代の割合	男性18-29歳63.3% 男性30-39歳54.2%	男性18-29歳50% 男性30-39歳68.6%	男性 75%以上
		女性18-29歳64.4% 女性30-39歳81.7%	女性18-29歳61% 女性30-39歳82%	女性 85%以上

目 標	H28に計画した市の取組み目標	課	R4年度 取組み(案) (R4.5月)	R4年度の現状と課題	R5年度取組み(案)
③健康長寿につながる健康的な食習慣を身につける	<p>○健診等を通じて、正しい食生活や運動の大切さや生活習慣病の予防についての啓発と実践を促します。</p> <p>○広報による情報発信や、料理教室や健康講座を開催し、健康的な食生活についての啓発を行います。</p> <p>○子どもの肥満や思春期のダイエット指向など、子どもの健康づくりについて、関係機関が連携して保護者に情報発信していきます。</p> <p>○健診等を通じて、生涯にわたって食事を楽しむことができるよう、歯の健康づくりやよく噛んで食べることの大切さを周知します。</p>	いきいき健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の基本(主食・主菜・副菜)や減塩、摂取カロリーなどを食進会主催の料理教室で伝える。 ・イオン福津店及び福岡女子大学と連携した適塩(減塩)・野菜摂取等の自然に健康になれる食環境づくりの周知啓発及びイベントを実施予定。 ・生活習慣病と深く関連している歯周病の予防や早期治療について保健指導時に説明。また節目対象者へ個別歯科検診の勧奨を実施を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座で市民向けの啓発を実施。 ・毎月の食進会の学習会で、定期的に啓発を行い、市民向けの料理教室に活かしている。 ・イオン福津店・福岡女子大学と共催で啓発イベント「ふくつうまっ!カリッ!DAY」を8月に開催。高血圧を予防する食生活の改善案として、カリウムを多く含む野菜や果物を積極的に摂取するよう呼びかけた。 ・市内小売店の協力で食品売り場に減塩食品を集めた「適塩コーナー」を設置。食進会提供の「適塩レンビ」を定期的に掲示。 ・節目歯科検診の受診率は微増。未受診者へは保健指導時に歯科検診の必要性を説明し、受診勧奨を実施。 <p>※「適塩」とは、単に薄味にするだけでなく、おいしくて体にやさしい適切な味付けのこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座や学習会・料理教室については継続実施予定 ・引き続きイオン福津店・福岡女子大学と連携し、自然に健康になれる食環境づくりの周知啓発やイベントを実施予定。5月に「美味・ヘル!7種の彩り丼」(福岡女子大学生がレンビ考案)の発売イベント、8月頃に日本栄養士会の「栄養ワンダー」と連携したイベントを開催予定。 ・引き続き、生活習慣病と深く関連している歯周病の予防や早期治療の重要性について保健指導時に説明。節目対象者への受診勧奨を実施する。
		こども課 大和保育所	天然の出し汁を使い旨味をいかした減塩料理を提供	天然のいろんな材料を組み合わせだしを使い分けている。	天然のだしを使って子どもたちに薄味の給食とおやつを提供したい
		子育て世代包括支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代から生活習慣病予防の啓発のため、新規事業の妊婦さんクッキングで栄養講話を実施予定。 ・引き続き各健診教室で子どもの頃からの生活習慣病予防の啓発として砂糖や塩分量、バランス良く食事をとる目安量の展示と資料配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハッピークッキング講座で栄養講話を実施。参加者を増やすことが課題。 ・各健診や教室で子どもの頃からの生活習慣病予防の啓発として、砂糖や塩分量、バランス良く食事をとる目安量の展示と資料配布している。 ・乳幼児健診以降のフォロー方法に検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、若い世代から生活習慣病予防の啓発のため、ハッピークッキング講座で栄養講話を実施予定。申し込み方法にアプリを追加し、対象を初産婦だけでなく、全妊婦とパートナー対象とし託児も付けて対応とする。 ・各健診教室で子どもの頃からの生活習慣病予防の啓発として砂糖や塩分量、バランス良く食事をとる目安量の展示と資料を配布する。 ・乳幼児健診以降のフォローは電話や手紙で継続支援予定。
		高齢者サービス課	市内で活動する市民グループや自治会などを対象に健康教室を開催	歯科衛生士による口腔関連の講座を開催。他の講座に比べ開催数は少なかった。講座案内について、今後も継続して取り組む。	事業は継続して実施。栄養や口腔の状態がもたらす健康への影響について広報することにより申込者を増やしたい。

NO	指 標	調査結果 (H27年)	調査結果 (R2年)	目 標 (R8年)	
9	減塩を心がけている市民の割合	62.4%	49.3%	75%以上	※N09、N010、N012の現状はH28年度実施の市民の健康に関するアンケートによる。
10	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をとるよう心がけている市民の割合	79%	47.4%	85%以上	
11	適正体重を維持している市民の割合	男性 74% 女性 72.5%		男性 80% 女性 80%	※N011の現状値、目標値は福津市特定健診受診者に対する割合。
12	よく噛んで食べることができる高齢者および子どもの割合	高齢者 74.0% 小学生 57.9% 中学生 52.5%	高齢者 49.6% 小学生 68.8% 中学生 65.8%	高齢者 現状維持 小学生 63% 中学生 58%	※ここでいう小学生・中学生とは、小学校5年生と中学校2年生を指します。



【基本目標3】豊かな心を育む

目 標	H28に計画した市の取組み目標	課	R4年度 取組み（案）（R4.5月）	R4年度の現状と課題	R5年度取組み（案）
① 食への感謝の気持ちを育てる	○保育所・幼稚園・小中学校等と生産者や事業者等の関係団体が連携して取り組みができるよう支援します。	学校教育課	給食時の「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつ指導の徹底	給食時の「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつ指導を行った。	引き続き、給食時の「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつ指導の徹底する。
	○健診や健康講座などあらゆる機会を通じて、保護者に家庭における食育の大切さを伝えていきます。	いきいき健康課	一緒に作ることや、一緒に食べることの大切さを親子、子供料理教室開催時に伝える。	親子料理教室、子ども食育教室で啓発した。	継続実施予定
	○健診や健康講座などあらゆる機会を通じて、保護者に家庭における食育の大切さを伝えていきます。	こども課 大和保育所	こどもたちに「いただきます」「ごちそうさま」の意味を伝えるため「命の会」を開き、それぞれの食材（肉・魚・野菜など）がどのように食べられるのかを伝える。	命の会は今年も年長組だけ行う。園の畑でとれた野菜を使って各クラスがクッキングを行った。	命の会では生きた魚を使って魚の命を頂くことや野菜などにも命があることを伝えていく。それで園児に命の大切さを伝えていきたい。
	○子どもたちに積極的な食育指導を行うとともに、子どもたちを通して、保護者に食生活の大切さや家庭での食育が一番大切であることを伝えていきます。 ○地域の特徴を活かした取り組みの情報を発信します。	子育て世代包括支援課	乳幼児健診配布資料で「いただきます」「ごちそうさま」の啓発。	乳幼児健診配布資料で「いただきます」「ごちそうさま」を啓発している。	引き続き、乳幼児健診配布資料で「いただきます」「ごちそうさま」の啓発をしていく。

NO	指 標	調査結果（H27年）	調査結果（R2年）	目 標（R8年）
13	「いただきます」「ごちそうさま」を必ず言う市民および子どもの割合	市民 52.6% 小学生 66.9% 中学生 58.7%	市民 48.1% 小学生 60.3% 中学生 61.4%	市 民 70% 小学生 100% 中学生 100%
14	朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週に9.4回	週に11.1回	週に10回以上

目 標	H28に計画した市の取組み目標	課	R4年度 取組み（案）（R4.5月）	R4年度の現状と課題	R5年度取組み（案）
②食文化を次世代につなげる	<p>○伝統料理や郷土料理についてホームページ等を活用し情報発信するとともに、料理教室を開催して作り方を学ぶ機会を提供します。</p> <p>○季節ごとの行事食や地域の食文化について、積極的に情報発信していきます。</p> <p>○親子料理教室等で、食に関する作法の継承など、家庭への食育の広がりを促進します。</p> <p>○地域ぐるみで、伝統料理や郷土料理が継承されるよう支援します。</p>	学校教育課	給食に郷土料理を積極的に取り入れている。	給食に郷土料理を積極的に取り入れている。実施日に給食時間の放送で全校に伝えた。	引き続き、給食に郷土料理を積極的に取り入れる。実施日に給食時間の放送で全校に伝えていく。
		いきいき健康課	郷土料理、伝統料理を減塩、低カロリーなどへ進化させたメニューを料理教室等で紹介する。	500kcal料理教室、子ども食育教室などでだぶ汁やあちら漬、博多雑煮（おせち）などの郷土料理を適塩仕様にて紹介。参加者にも好評である。 ※「適塩」とは、単に薄味にするだけでなく、おいしくて体にやさしい適切な味付けのこと	継続実施予定
		こども課 大和保育所	給食のメニューに伝統料理や郷土料理を取り入れ、食育の時間に（おせち料理）のそれぞれの意味など教える。	福津の郷土料理や季節の行事食を栄養士と連携をとりながら子どもたちに伝えることができた。	継続実施予定
		子育て世代包括支援課	・乳幼児健診でレシピ配布 ・小学生の夏休み課題で、福津の食材を使って料理へのチャレンジする企画の中で、郷土料理を調べてつくる項目を入れる予定。	・乳幼児健診で郷土料理の載ったレシピを配布している。 ・福津のめぐみで料理名人で郷土料理の項目を入れた。	引き続き、 ・乳幼児健診で郷土料理の載ったレシピを配布予定。 ・福津のめぐみで料理名人で郷土料理の項目を入れる。

NO	指 標	調査結果（H27年）	調査結果（R2年）	目 標（R8年）
15	行事食を年5回以上行っている家庭の割合	52.80%	35.4%	80%
16	伝統料理や郷土料理を知っている市民および子どもの割合	市民 ー 小学生 50.6% 中学生 44.7%	市民 72.1% 小学生 64.6% 中学生 75.6%	市 民 90%以上 小学生 80%以上 中学生 80%以上
17	食に関する作法や望ましい食生活に関心のある人の割合	ー	73.9%	60%以上

【基本目標4】安全・安心な環境をつくる

目 標	H28に計画した市の取組み目標	課	R4年度 取組み（案）（R4.5月）	R4年度の現状と課題	R5年度取組み（案）
①食に対する正しい知識を身につける	○健康講座や食進会の養成講座を通じて、食品表示や新鮮な食品の選び方、食品の保存などについて、学ぶ機会を提供します。	郷育推進課	地域とそこに暮らす住民とともに育ちあう「郷育」をすすめ、生きがいと地域の指導者づくりを目指す郷育カレッジで、食品表示の読み取り方に関する講座を実施。	郷育カレッジで、食品表示の読み取り方に関する講座を実施し、23名が受講。	引き続き、郷育カレッジで、食品表示の読み取り方に関する講座を実施。
		学校教育課	食品衛生について、保護者におたよりで啓発	食品衛生について、保護者におたよりで啓発した。児童に給食指導や食育の学習を通じて啓発していく。保護者が知りたい内容を把握することが難しい。	引き続き、食品衛生について、保護者におたよりで啓発していく。
		いきいき健康課	・養成セミナー開催時に「食品表示」等の講座を実施する。 ・ふくとびあロビー以外の施設やイベント等で、飲料水に含まれる砂糖の量を展示。	・養成セミナーで、食品の安全な取り扱い方法、食品表示等の説明を行っている。 ・食進会の学習会で清涼飲料水に含まれる砂糖量のサンプルを作成し、ふくとびあに展示。 ・子ども食育教室で同様の内容を実習した。	食品や清涼飲料水に含まれる塩分・砂糖の量については、展示物や掲示物での周知活動を継続実施予定。
		こども課 大和保育所	給食だより等を利用し保護者に対し食に関する知識などを伝える。	レシピやクッキングを通じて知識などを伝えることができた。	継続実施予定
		子育て世代包括支援課	乳幼児健診や、妊婦さんクッキングで表示の見方を展示し説明。	乳幼児健診や、ハッピークッキング講座で表示の見方を展示し説明している。	引き続き、乳幼児健診や、妊婦さんクッキングで表示の見方を展示し説明していく。

NO	指 標	調査結果（H27年）	調査結果（R2年）	目 標（R8年）
18	食品表示を必ず確認する市民の割合	65.5%	36.7%	80%

*前回まで「表示をみていますか」、今回は「必ず確認する」市民の割合

目 標	H28に計画した市の取組み目標	課	R4年度 取組み（案）（R4.5月）	R4年度の現状と課題	R5年度取組み（案）
② 地域の自然環境をみん なで守る	○料理教室の開催や広報等を利用して、食べ物を無駄にしない工夫の普及に努めます。 ○水を汚さないことやごみを減らすことの大切さ等について周知します。	郷育推進課	地域とそこに暮らす住民とともに育ちあう「郷育」をすすめ、生きがいと地域の指導者づくりを目指す郷育カレッジで、食品ロス減らす活動紹介の講座を実施。	郷育カレッジで、食品ロス減らす活動紹介の講座を実施し、18名が受講。	引き続き、郷育カレッジで、食品ロス減らす活動紹介の講座を実施。
		学校教育課	学校やクラスによって、期間を設け「残食なくそう」をテーマに取り組んでいることを継続する。	「残食」について学んだり、期間を設け全校で「残食をなくそう」をテーマに取り組んだりした。	学校やクラスごとに、期間を設け「残食なくそう」をテーマに取り組んでいることを継続する。

NO	指 標	調査結果（H27年）	調査結果（R2年）	目 標（R8年）
19	食べ物を無駄にしないよう取り組んでいる市民の割合	—	99.20%	80%以上

【基本目標5】連携・共働で食育を進める

目 標	H28に計画した市の取組み目標	課	R4年度 取組み（案）（R4.5月）	R4年度の現状と課題	R5年度取組み（案）
①行政・学校・ボランティア・関係団体の連携を強める	<p>○市民が参加しやすいイベントを開催します。</p> <p>○誰もがイベントに参加できるよう、積極的な情報発信を行います。</p> <p>○食進会の会員の獲得に努めます</p>	学校教育課	学校と連携し、教育委員会ホームページで「学校給食レシピ」を掲載する。	掲載に向けて掲載方法の検討を行っているが、掲載までには至らなかった。	掲載方法の検討を続け、掲載方法が決定したら掲載する。
		いきいき健康課	<p>養成セミナー（全8回）を開催し、食進会の会員増を図る。</p> <p>健診会場等でのレシピ付きチラシを配布し食進会の周知と加入を図る。</p>	<p>・養成セミナー（全8回）を開。（受講生10人）</p> <p>・健診会場、献血会場、でレシピ付き会の紹介チラシを配布。</p> <p>・イオン福津店での健康イベントで適塩レシピを配布。また適塩コーナーの設置に伴い適塩レシピを定期的に更新。</p> <p>・津屋崎地区での活動として、カメラアホールにて料理教室を実施。</p> <p>・会員増加への働きかけを継続し、活動を活性化する必要がある。</p>	<p>・養成セミナーは次回R7年度開催予定。</p> <p>・その他は継続実施予定</p>
		子育て世代包括支援課	小学生の夏休み課題で、福津の食材を使って料理へのチャレンジする企画の中で、ホームページで福岡女子大の学生さんの協力で参考レシピを入れる予定。	福津のめぐみで料理名人では、市内小学校、福岡女子大学、JA宗像、あんずの里市、お魚センター、ふれあい広場、市図書館などに連携協力頂いた。	引き続き、福津のめぐみで料理名人では、市内小学校、福岡女子大学、JA宗像、あんずの里市、お魚センター、ふれあい広場、市図書館などに連携協力依頼する予定。

NO	指 標	調査結果（H27年）	調査結果（R2年）	目 標（R8年）
20	食育のイベントや活動に参加した市民の割合	9.5%	10.8%	20%
21	食育イベントや活動が開催されることを知らずに参加できなかった市民の割合	37%	48.9%	30%

目 標	H28に計画した市の取組み目標	課	R4年度 取組み（案）（R4.5月）	R4年度の現状と課題	R5年度取組み（案）
②これも食育の啓発	○身の回りの小さな取り組みが「食育」につながるものであることを周知します。	いきいき健康課	会員への学習会では、調理だけでなく生活習慣病や適塩について管理栄養士が座学を同時に行い、市民への周知啓発へつなげる。	適塩をはじめ生活習慣病の機序、家族や市民に分かりやすく伝えるためのポイントなどを伝える。 ※「適塩」とは、単に薄味にするだけでなく、おいしくて体にやさしい適切な味付けのこと	継続実施予定
		子育て世代包括支援課	・引き続き、広報カレンダー折り込みチラシカレンダー裏へ食育記事掲載の取りまとめを行う。 ・引き続き、庁舎内へ毎月19日の食育の日に食育掲載記事掲載	・広報カレンダー裏へ食育記事掲載の取りまとめを行っている。 ・職員に向けて毎月19日の食育の日に食育記事をインフォメーションへ掲載している。	引き続き、 ・広報カレンダー裏へ食育記事掲載の取りまとめを行う予定。 ・職員に向けて毎月19日の食育の日に食育記事をインフォメーションへ掲載予定。

NO	指 標	調査結果（H27年）	調査結果（R2年）	目 標（R8年）
22	食育活動を楽しんで実践している市民の割合	65%	67.7%	75%
23	食育に関心のある市民の割合	79.7%	80.6%	90%